

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) アルフレッサファーマ株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 540-8575 大阪府大阪市中央区石町二丁目2番9号	
本票作成	部署名：				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	医薬品、診断薬、医療機器、医薬品原材料等の製造・輸入・販売。従業員：665人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山製薬工場		岡山県勝田郡勝央町太平台18番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数                      1    所                      ●車両台数 (②該当の場合)                      台)				

計画期間	平成 26 年度                      ~                      平成 28 年度                      ( 3 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.9 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 25 年度)			目標年度 (平成 28 年度)					
	7,994 t CO <sub>2</sub>			7,500 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 25 年度) の排出量					
	①	岡山製薬工場		7,994 t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		11.156 t CO <sub>2</sub> / ( t )	10.500 t CO <sub>2</sub> / ( t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 25 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

・設備稼働調整や更新によるエネルギー効率の向上を図り、省エネ法に基づく年1%以上の温室効果ガス排出削減に取り組む。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

- ・工場において省エネ推進に関する会議を開催し効率的な設備稼働の運用を図る。
- ・推進委員のパトロール実施による省エネ推進。
- ・エネルギーの見える化を行い社員への省エネに対する意識付けを行う。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
岡山製菓工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間の空調運転をセントラル方式から該当作業室のみのパッケージ方式の変更</li> <li>・準夜勤時の空調機運転台数の見直し(2台運転から1台運転に変更)</li> <li>・空調機ファンモーターを高効率タイプに変更・照明をLED及び高効率タイプに変更</li> <li>・吸収式冷凍機の冬期運転停止</li> <li>・製造エリアの空調温度見直し(夏期：+1℃、冬期：-1℃)</li> <li>・空調及び冷熱原設備の運転をプログラムにり管理</li> <li>・早期退社とパソコンの省エネ設定の徹底</li> </ul>

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
岡山製菓工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要設備の稼働調整による電力の平準化</li> <li>・高圧トランス3台をトップランナーに更新</li> <li>・貫流式ボイラー軟水タンクを屋外設置から屋内に移設</li> <li>・貫流式ボイラー本体の保温(カバーリング)</li> <li>・圧縮空気の漏れ調査及び改修と、設備の連続ブローをブロー又は間欠ブローに変更</li> <li>・渡り廊下の照明を常時点灯から人感式に変更</li> <li>・製造エリア空調の室内温度及び露点温度の変更</li> <li>・エネルギー見える化の導入</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--